

＜市町村教育委員会名＞ 川口市教育委員会

＜所在地＞ 川口市青木2-1-1

＜電話＞ 048-259-7662

＜本事例の特徴＞

本事業は、教育分野で友好都市締結をした米国オハイオ州フィンドレー市の市立図書館と提携し、洋書を読み、英語でディスカッションをすることを通して中学校英語科教員の英語力向上を目的とした希望制の研修である。

＜具体的な取組や成果＞

■本事業を行う背景

【市内英語科教員研修の一環として】

1. 市内英語科教員の英語力は、令和3年度英語教育実施状況調査の結果、CEFR B2 レベル以上の教員数は全93名中38名 40.8%であった。これは、国の38%を上回るものの、第2期教育振興基本計画に示された目標数値の50%以上を下回っている。
2. 授業中の英語使用状況は、「発話をおおむね英語で行っている」と回答した本市教員の割合は42.6%となっており、全国の19%を大きく上回っている。また同様に、授業における生徒の英語による言語活動時間の割合も全国の平均を上回っている。これは、市内中学校で、5ラウンドシステムによる授業が導入されていることにより、英語の授業が、よりコミュニカティブになっているから、と結論づけることができる。この教授法は、教科書の内容を繰り返し学ぶ過程で、生徒と教員による英語でのやり取りが豊富に行われ、それが授業の重要な位置を占めることである。このことから、教員の英語力を向上させることは、本市にとって課題の一つであると言える。また、教員の国際感覚をさらに養うことで、子どもたちへの指導に幅と深みをもたせたい。

■目的

1. 教育分野で友好都市を締結したオハイオ州 フィンドレー市との連携の一環として、フィンドレー市立図書館と読書体験を通じた交流活動をオンラインで行う。
2. 市内英語教員の英語力を向上させ、児童生徒の英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、教員の高い英語力を基盤とする授業改善に取り組む。

■開催方法等

1. 年2回（夏季・冬季休業中） ※第1回 日本側8名、アメリカ側15名
2. オンライン開催（任意参加） ※使用言語は英語
3. 日本時間の午前8時半の開催（アメリカは前日の午後7時30分）
4. 本の選定、フィンドレー市側の参加者の調整はフィンドレー市立図書館の司書が担当

■期待される効果

1. 洋書を原文のまま読むことによる、語彙力、リーディング力の向上
2. 読んだ知識をまとめ、自分の言葉で表現することによるスピーキング力の向上
3. 英語ネイティブと即興でやり取りすることによるリスニング力、スピーキング力の向上
4. 英語ならではの視点（国際理解）による指導力の向上